

# ピラミッド山・イワクラの発見と 地元への提言

—イワクラ保存提案書—

会員 浜田善博

宮城県塩釜市に在住する、齢65才になろうとする者で、未だ、イワクラ学会の名簿にも載っていない新米の会員です。

今般、柳原事務局長様から、鈴木旭先生も同意された上での、学会会報への投稿依頼のご案内を頂きました。昨年10月には、一度、事情があり、お断りいたしました。今回は「：堅苦しく考えず気楽に、今まで調べた事、地元提案された「提案書」を、会員の方々に知って頂き、会員のご協力を得る事も大事である」と言うアドバイスを受けました。私としては、拙い、地元への「提案書」を投稿し、会員の皆様のご指導・ご協力を仰ぐ事は、新米会員としての、私のこれからの活動に、ご助言を頂けるのではないかと思います。恥ずかしながら、投稿させていただくことに致しました。

私は、20年位前に、鈴木旭先生の著書を拝見いたしました。以来、

ずっと、ピラミッドの日本発祥論や、古代の巨石に思いを馳せてきたものでございます。

32才の時にUFOを見てからと言うもの、こうした事に物凄い興味を覚えておりました。会社勤務もあり、なかなか出掛ける事も出来ずにおりましたが、定年となりましてから、長年の思いをようやく自分の足で、見て回ることが出来る事となりました。昔も今も変わりませんが、巨石などを見るたび、何故、こんな場所に、こんなものが、ここに有るんだらうか！どうしてこの重い物の上に重ね上げることが出来たんだらうか！決して自然に出来たものではない！と、いつて、古代の人がやっただけでも、どうやったのか？不可能ではないか！と言う素朴な疑問でした。例えば看板に、「弁慶が一夜にして持ち上げ！」なんて書いてありますと、そんな馬鹿な！と言う事だけでした。民話の世界では、いいでしょうけれど、私自身、そんな話で納得できるものではありません。

した。その不思議さを、其の儘にしておくことも出来ません。

どうしても、鈴木先生の著書や、関連した本を読んでは、それしかない！とのめり込んでまいりました。そして、あちこちの山に、確認の為に登ったりしておりました。昨年、国道48号線を通るたび見える大きな岩山に、何かあるのではないかと思っておりました。それが、山形県関山の石崎山でした。そこから見える三角山(後で知った立石山)ピラミッド又神奈備山を、本殿山ではないか！と思ひ、何度も登りました。ピラミッドの特徴や条件を備えているか！里山であるか！川や沼などがあるか！周囲の山岳信仰は！など確認したりしました。

そして、ピラミッドに違いないと、厚かましくも、無謀にも、山を管理する地元の「(社)関山愛林公益会」に、私の調査の身を纏め、この「提案書」をお手渡し致しました。

そして、どうしても、再度、鈴木先生やイワクラ学会様の目で、その立石山を確認していただきたい、地

元への、「提案書」写しをお送り申し上げます。

当然、提案書の中で、地元へは、「…鈴木先生やイワクラ学会に、地元からも、その確認をお願いしていただけたら…」とも、書かせて頂きました。地元から、動いて頂けるかは分かりませんが、もし、そのような事になれば、ますます張り切って、あちこち又、ピラミッドや巨石探しに飛び回ることでしょう。

今般、この「提案書」を、投稿するものでございます。

唯、今日現在、地元からのお問い合わせ・回答などはございません。提案が昨年10月でしたので、地元は間もなく冬に入りましたので、その後の経過としては、進展がないと思われます。唯、提案後、また、確認に登りました時に、更に、山の雑草や枝や枯れ木などが綺麗に整備されている感じでした。

本件に関して、鈴木先生から、春には出かけて調べましょう！というご返事を頂きました。その前に、色々

調べておきましょう！と言う事で、先生は、山形天童市在住の岡崎様に、一度確認させたいと言われました。

その岡崎様の確認結果は、鈴木先生を通じて、未だ聞いておりませんが、次会報で何らかの発表があるのではないかと期待しておる所でございます。

又、私には、鈴木先生から、「周辺の山や河、神社、縄文遺跡などとの関係を総合的に見ておく必要があるかと思う。又、それらの位置関係を示す地図とか、スケッチ、これらの調査に欠かせないのが方位方角、距離などの地理学的情報です。」と言う事でしたので、それらを調査して、資料など送付いたしておる段階です。

以下、恥も何もない、拙い、「提案書」を添付いたしますが、会員の皆様方に置かれましては、是非是非、新米会員への、今後取り組みや、心構えなどについて、良きアドバイスを賜りますようお願い申し上げますのでございます。

以下、地元山管理者にお手渡し致しました「提案書」です。

山形県東根市関山の

## ピラミッド本殿山とその拝殿山

[提案書]

「本殿山:立石山」

「拝殿山:石崎山」

ピラミッド日本発祥論&超古代巨石文明論！傾倒者

アマチュア・広遊楽者（自称） 浜田 善博

### 1、始めに

超古代文明の文献を見る時、必ずや、酒井勝軍という名前が見えます。

酒井は、明治6年に山形県に生まれ、現在の宮城県東北学院を卒業して、その後、アメリカに渡ったり、シベリアに従軍したり、陸軍からパレスチナに派遣されたり、その際に、エジプトにも行ったりした・・・の事です。

帰国後の、古代文明史の研究から、ピラミッドは、今から200,000〜300,000年前に誕生した古代日本が発祥地である。…という説を唱えた人物です。

その説によると、ピラミッドの要件は、三角形の形をしていて、本殿の頂上に神殿があり、それを遙拝する拝殿が近くにある事。本殿には、太陽石や列石が、拝殿にはドルメン、方位石、鏡石、メンヒルなどが存在すると言われています。

今では、これに限らず、定義されておる様でございます。

酒井は、エジプトのピラミッドは、日本のピラミッドが伝播したものであり、日本でも、必ず、将来発見されると予測していました。酒井が61才の時に、情報から、広島の高嶽山に登り、その構造から、酒井の説がことごとく実証されたのです。そのピラミッドは、今から23,000年前のものであると言いつたのです。何故、言い切れたのか？や、また、何故、酒井がその構造等を知り得たのか？は、謎の儘です。その後、青森の大石神山、岩手の聖地としての五葉山、更に、竹内古文書で有名な竹内巨磨により青森の十和利山が、酒井は、岐阜高山では、50,000年前という世界最古の平面ピラミッドを発見した…と言っています。

更に、日本には幾つものピラミッドがあるのではないか…という事です。土偶や土器が出ないと、思考停止に陥る…と言われております考古学会を別にしまして、既述の鈴木先生、磐座学会、ペトログラフ協会…その他多くの団体により、又、個人でも、在野の研究者諸先生方により、現在、研究が進められていると聞きます。

私自身は、山形県天童市出身の鈴木旭氏による「日本超古代遺跡の謎」及び、伊集院卿・大平光人による「日本ピラミッド超文明」その他の書籍等を通じ、著者に多大な敬意を持っている者として、参考にさせて頂いております。

最近、色んな角度からアプローチされ、研究され、発表されておられるようでございます。私も磐座学会の資料などを頂いて勉強させて頂いております。

私は、東北の山々にロマンを感じ、回り、登っては、その謎の確認をして、おります。

私が、ピラミッド、超古代巨石文明の跡を求めて、数ある中の、ほんの一握りであろう、回り登って見た山々は、東北に限定しますと、次の通りです。

巨石、安達が原、宮城・立石山、鹿島天足別神社、神行堂山

その他…山形・富神山とストーンサークル(こども、本来ピラミッド？)に入るべきです。(裏山寺、雨垂れ岩、水晶山、一念峰、岩部山、小湯山、観音岩、千歳山、戸神山、上の山尖り山、猪鼻山、おさん森、

東北のピラミッド…青森・十和利山、靄山(モヤ山)、三角山、大石神山、秋田・黒又山、福島・千貫森山そして、山形本提案の立石山(本殿山)、宮城、太白山

岩手・達谷窟、福島・岩角山、吉祥寺、信夫山、石都々和気神社、木幡山、稔津島神社、霊山、宮城・石神山精神社、釣石神社、七つ森・遂倉山&たがら森、磐岳山、夫婦山、

関連山等…青森・岩木山と霊ライン、岩手・五葉山、秋田・大湯ストーンサークル、宮城・金華山、福島・飯野町赤岩、花塚山

山形・石崎山(拝殿山) 青森・大石神社、山形・山寺、大石寺象石、湯殿山ご神体、岩手・遠野統石、盛岡烏帽子岩、石割り桜、三ツ石神社、磐神社&女石神社、千蔵夫婦石、福島・飯野町

山形・石崎山(拝殿山) 青森・大石神社、山形・山寺、大石寺象石、湯殿山ご神体、岩手・遠野統石、盛岡烏帽子岩、石割り桜、三ツ石神社、磐神社&女石神社、千蔵夫婦石、福島・飯野町

2、立石山はピラミッドそして石崎山は拝殿

石崎山は、一枚の、大きな岩の上  
に全て乗っかっている感じですが。も  
しかしたら、巨石を集めて積み上げ、  
小さな山にしたのでは・・・と思える  
ような感じですが。その小さなマウン  
ドの様な山に、登り口が東と西と南  
にあります。西の登り口には、後年、  
作られたであろう(?)お社が2つ  
あります。延命地藏尊と観世音が祀  
られております。

お社の一寸上には、巨石を積み上  
げた見事な祭壇石があります。頂上  
付近は、全部が巨石から出来てるよ  
うに、見えます。切り取った様な巨  
石の壁も見えます。緩やかな傾斜に  
あるにも拘らず、垂直に切られた方  
位石もあります。  
巨石の組石があります。  
鏡石らしき巨石?と思い、探しまし  
たが、これはどうかかな?と思うもの  
の、こじ付けになるようで、はつき  
り分かりません。大岩の上から、東  
方向を見ると、形のいいピラミッド  
型の山が見えます。一つ中間にある  
山を越して、後ろに見えます。ほん

とにいい形のピラミッド型をしてお  
ります。石崎山に、こんな立派な方  
位石や祭壇があるなら、あの東側の  
三角の気になる山が本殿のピラミッ  
ドではないか。石崎山は、その拜殿  
ではないのか?と胸が高鳴ります。  
その山の北側に行っても、もつと奥  
に行っても、形は綺麗なピラミッド  
型です。

その山麓の北側の道路沿いにある  
山裾のお社群(6社)をお参りしまし  
た。馬頭観世音や稲荷大心霊等が祀  
られております。中には、丸い石が  
沢山お供えしてあり、社の外にも丸  
石があります。不思議な感じですが。  
東側の方に向かい、漸く、見える  
ところから見ても三角です。近くの家  
を訪ねて、この山の名前やいわれ等  
を聞いたのですが、分かりませんで  
した。もしかして「ピラミッド」の  
ような話はありませんか?と尋ねま  
したが、笑うだけでご返事は頂けま  
せんでした。「もしかして水晶山の  
事ですか?」と、逆に聞かれました。  
又、東側の採石場の入り口に来ま  
した。防災、火伏せの神、古峰神社

があります。入り口に巨石がでんと  
座っております。この山は神の山!  
神の領域!...とでも、言ってるかの  
ようにデンと構えております。東側  
山麓には、川幅、20m位の「村山  
野川」が流れており、超古代の人が  
住まない訳がありません。  
ここから頂上までいけるか

な?・・・と階段を登りましたが、神  
社から上には行けませんでした。そ  
れでは・・・と、先刻、漏れ、お聞き  
した「水晶山」に行く道を聞こうと  
車を走らせ、...とある家の前に停め  
て、お尋ねしました。ついでに、さ  
つきの気になる山、即ち、石崎山の  
隣の高いピラミッド山についてお聞  
きました。

山の名前をお聞きした途端、一瞬、  
絶句でした。その後は、「ほんとで  
すか?」

立石山ですか?でしたら、山の頂  
上付近に巨石がありますか?とお  
聞き致しました。「沢山ありますよ」  
の答えには、もう「登って、確認し  
なければ!...という気持ちでした。

登れますか?とお聞きしましたら、  
「私達が木を切って、草刈しました  
から登れますよ!」とのご返事でした。  
立石とは、ずばりメンヒルでは  
ないですか!

心躍らせ、目をあらためて登りま  
した。中間にある山の屋根を伝って  
登ります。

不思議な事に、中間の山に巨石は  
ありませんが、地元の方の話により  
ますと、この山を含めて立石山と呼  
ぶそうです。

立石山の中腹からは、巨石がごろ  
ごろしています。盤境です。頂上は、  
巨石群です。天に向かつて立つメン  
ヒル、神が降臨したであろう天柱石、  
遠野の続石に似たドルメン、天の岩  
戸か?のような組石、鏡石(?)もあ  
ります。何故、ここに、こんなに巨  
石が集中しているんだ!と思われる  
巨石群です。ピラミッド本殿に相違  
ない!と確信しました。その後もま  
た登り、写真を撮ったり、再確認し  
ました。地元提案しよう!と思っ  
た立った次第でした。

水晶山は、後日登り確認しましたが、石崎山との絡みはないように思いました。

確かに、水晶（石英）に、圧がかかると大きな電圧が生じ、エネルギーを生んだり、山も磁化され、放電も起こるのでは？とも言われております。所謂、ピラミッドの一つの特徴と言えますか、現象と言いますか、あると言われております。

無責任ですが、何かあるとすれば、麓の、雨垂れ岩（天童ゴルフ場）との絡みではないでしょうか！…。まだまだこの山は確認されるべき！と思いました。

とは、言いましたものの、立石山ピラミッドは、地元の方々に、ご提案させて頂くと言う事になれば、あらためて冷静に確認する必要があります。その後も、確認に登りました。確かに、私自身は、超古代に造られたもの！と思つて見ても、長い年月の内に、自然の力で、信じられないような景観や、人為的に造られたような景観が出来ると思われるものも、多々存在致すからでございます。

この山の管理は、峰の南側を（社）関山愛林公益会殿が、北側を観音寺生産森林組合殿が管理されております。この地域は、扇状地であり、又河岸段丘となっており、このような山が出来た・・・と地元では考えられております。

周囲には、神社が多く祀られており、田の中にも、薬師如来の眷属の十二神なのか、雷をつかさどるゼウス十二神なのかは定かではありませんでしたが、その社があったり、立石山の南側にもいくつもの社があり、また、多分に昔、雷が落ちたであろう場所（推測）に、農耕の為の水不足を祈願する雷神様が祭られております。

いずれに致しましても、提案しておきながらですが、ご見識ある方、ご専門の方々のご確認は、必要であるという次第でございます。失礼をお許し下さい。

### 3、地元の方々の確認を！

こんなに立派なピラミッド…と思える山を、もつと世に、広めたつて良いのではないかと思います。関係者が大事に整備され、又、小学生達が、頂上まで、綺麗に「立て看板（道標）」を設置されて、道案内され、愛しんでおられる地元この山を、沢山の方々に見て頂き、登って頂く事が、必要であろうかと思っております。このような、殺伐とした世の中にあつて、子供達の情操教育のために、「ロマン溢るる、「立石山登り」」が、行事化されるような計画などもあつていいかと思うのです。もしかして行われているとすれば、お節介もいとこで、恥ずかしき限りでございます。

町が、地元が、潤う事はないにしても、東根に、又関山に、こんな立派な超古代巨石文化の遺跡が…いや、エジプトピラミッドの原型がここにある！つて。…楽しいではないでしょうか！荒唐無稽と思う無かれ！です。

私は、出来れば、磐座学会会員の方々や、私が敬意をはらつてる天童

出身の、ピラミッド等超古代文化のご専門家、歴史作家鈴木木匠氏のご確認を頂き、ピラミッドとしてのお墨付きを頂くよう、進めていただければ、喜びとする所でございます。

私は、ピラミッド日本発祥論&超古代巨石文明論に傾倒する、自称、広遊樂者・アマチュアの一人に過ぎません。ご提案だけさせて頂きたいと思うのでございます。是非、確認を得、正式な、「ピラミッド」山として…と願わずに居られません。

かく言う 私は、山形県出身ですので、立石山が、公に認めて頂くことに、事のほか、その思い入れが強いのです。是非是非！と思う次第です。

### 4、写真 添付

謹言

# 石崎山



## 石崎山

山全体が巨石で出来てる感  
ですが、元から、そこにあったん  
だろうか？

巨石の尾根が脊髄のようです。



## 巨大な一枚岩

「巨大な岩はそこに運ばれて  
置かれたのではないのでしょうか？」  
と、申し上げましたら、地元の方に  
一笑されました。



## 祭壇石か！

見事な巨大な組み石です。

祭壇石ではないでしょうか！





### 方位石か！

緩やかな傾斜地に立っています。  
それも垂直に切られています。  
北北西(南南東)をさしています。



### 組み石です。

それとも天柱石？は、かんがえすぎでしょうね！



「左」及び「左下」は切り取り、加工されたようです？。  
明らかに人為的です。

「下」は、バランスを取る為でしょうか？  
後で、落下防止で地元の方たちが間に石を差し込んだのでしょうか？それにしても古代の人は、簡単に巨石を動かしたようです。





**東側から**

手前が石崎山(拝殿)

後方三角山が立石山  
(ピラミッド本殿)

不思議な事に中間の山「立石山」には石が見当たらないのです。

**東側から立石山を見る**

石崎山から、気になる山が見えます。

見事なピラミッド山「立石山」です。



**北側から立石山を！  
を！**

**南側、国道 48 号線から立石山**





# 立石山

南側山麓のお社群の中に丸石が供えてあります。馬頭観音や稲荷神霊が祀られています。



西側の古峰神社前に奥行きのある巨石です。



立石山、ピラミッド本殿から拝殿の石崎山(西南西)を望む！



中腹～頂上にかけて、見事な巨石(磐境)が配置(?)されています。



頂上の巨石群



ドルメンではないだろうか？  
側面から下が平らにされておりドルメンでしょう！



正面から



天岩戸か？

ドルメンか？崩れた石にも見えますが





頂上 何とも言えないが、意味ある組石に見えないこともない。



巨石の間に



舟石？祭壇石のような？



天柱石か



巨大な石！鏡石か？

南南西に面する。かつては、高さ10m、横20m位の巨岩が10個位に割られたものでないでしょうか？



天に届くようなメンヒル！6～7mもある！



見事なメンヒルである。



